



南阿蘇村立両併小学校

H30.5.2(水) No5
文責 校長 狭間卓史



大切な思い出またひとつ

「甘いです」、「まろやかです」、「のどにすーっと入ってきます」等々の言葉。これは先週27日(金)歓迎遠足の際に、白川水源でのどを潤した際の子どもたちの言葉です。どの子も自分の気持ちを素直に表現してくれて嬉しい言葉でした。白川水源での休憩後、白川水源駅で歓迎会を行いました。6年生を中心に上級生児童がどうやって1年生を歓迎すれば喜んでもらえるのかを考えて取り組んでいる様子が伝わってきましたし、迎えられる1年生も元気よく素直に伝えてくれて、ほのぼのとした時間でした。

歓迎式の進行はもちろん、弁当を食べる時、食べ終わってからの休憩時間等々、6年生や5年生が下級生を気遣う場面をたくさん見ることが出来ました。また、往復の道中でも往路では職員が6・5年生に助言する場面が多かったのですが、復路ではそういう場面も減り、道路の外側を1年生を歩かせる等、自分で考えて行動する姿も見られるようになってきました。上級生としての自覚と行動が目を追う毎に身につくにつあります。どの学年も一步一步、日々成長しています。

今回の歓迎遠足では最終目的地を昨年度に引き続き「白川水源駅」にさせていただきましたが、本校受け入れのために、駅舎内で喫茶店を運営していらっしゃる伊藤幸蔵さんには、敷地内の草刈りや駅舎前の池の水張り等、細やかに配慮し迎えていただきました。当日、伊藤さんご本人は所用のためお留守でしたが、児童一人一人へのおやつまで準備してくださり、伊藤さんのお母様が届けてくださいました。

草地の広さもテニスコート3面ほどの広さであり、草刈りも大変だったろうと思われます。また池の水張りも、昨年お世話になった際に本校児童が大喜びで池の中に入って遊ぶ姿を覚えてくださってのことでした。もちろん今年も昨年以上に多くの児童が池の中に入り、歓声をあげていました。(池の中のカエルは接待で疲れていることだと思いますが・・・)

こんこんとわき出る清水、雄大に横たわる阿蘇五岳、そして何よりも心温かな方々。最高の環境の中に本校児童は暮らし学んでいます。



【1年生をしっかりガード】

【心を込めてプレゼント】

【清らかな水、清々しい表情】

【毎日弁当がいいな・・・】
だそうです

おめでとうございます・・・日々の練習の積み重ねがあつてこそその成果ですね。

☆九州音楽コンクール課題曲の部 審査員特別賞・・・永野りゅうと さん
☆有明楽器ピアノコンクール 低学年の部 最優秀賞・・・永野あいか さん
高学年の部 優秀賞・・・永野りゅうと さん